

第38期 決算公告

平成29年6月20日

香川県高松市塩屋町8番地1
百十四総合保証株式会社
代表取締役社長 岡 保雄

貸借対照表 (平成29年3月31日現在)

(単位 円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	7,016,512,937	流動負債	2,372,710,214
現金・預金	6,843,696,702	未払費用	2,788,570
求償債権	209,409,721	未払法人税等	165,580,300
未収収益	60,100,861	未払消費税	4,225,500
前払費用	2,131,629	預り金	8,925,633
仮払金	4,349,700	前受保証料	2,182,337,869
繰延税金資産	43,073,261	賞与引当金	8,843,792
貸倒引当金	-146,248,937	その他流動負債	8,550
固定資産	627,181,601	固定負債	1,431,480,716
有形固定資産	2,149,590	退職給付引当金	4,194,764
器具・備品	2,149,590	役員退職慰労引当金	8,180,000
無形固定資産	3,423,644	保証債務貸倒引当金	1,419,105,952
ソフトウェア	2,937,803		
電話加入権	485,841		
投資その他の資産	621,608,367	負債合計	3,804,190,930
投資有価証券	187,889,250	(純資産の部)	
敷金保証金	6,994,440	株主資本	3,839,503,608
繰延税金資産	426,724,677	資本金	30,000,000
		利益剰余金	3,852,253,608
		利益準備金	7,500,000
		その他利益剰余金	3,844,753,608
		別途積立金	944,200,000
		繰越利益剰余金	2,900,553,608
		(当期純利益)	(585,751,621)
		自己株式	-42,750,000
		純資産合計	3,839,503,608
資産合計	7,643,694,538	負債及び純資産合計	7,643,694,538

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 資産の評価基準および評価方法

有価証券の評価基準および評価方法

その他有価証券

①時価のあるもの……当期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

②時価のないもの……移動平均法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……定率法（ただし、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法）を採用している。

ソフトウェア（自社利用）……社内における利用期間（5年）に基づく定額法

(3) 引当金の計上基準

①賞与引当金……従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期末に対応する金額を計上している。

②退職給付引当金……従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

③貸倒引当金……求償債権等の債権の貸倒損失に備えるため、債権の回収可能性を個別に検討して計上している。

④保証債務貸倒引当金……保証業務から生ずる債権の貸倒れによる損失に備えるため、債務者区分に応じた引当方法を採用し、個別回収不能見込額および予想損失額を計上している。

⑤役員退職慰労引当金……役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金等の基準に関する内規に基づき当期末における要支給額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。